

ごてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly



2025年2月7日発行



「情景」

撮影：御殿場南高等学校 1年 鈴木志織さん

- | | | | |
|--------------------|-----|--------------------------------|------|
| ■ 議場見学 | 2 | ■ 一般質問(14人) | 6~12 |
| ■ 未来議会プロジェクト | 3 | ■ 議案の審議結果一覧 | 13 |
| ■ 行政視察・議会報告会 | 4~5 | ■ 議会防災訓練、議長日記、3月定例会の予定、編集後記... | 14 |

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。 問い合わせ／図書館 TEL.0550-82-0391

御殿場市議会
Gotemba City Assembly

御殿場市議会

検索



令和6年12月定例会の
一部を録画配信します。

※動画閲覧には通信料がかかります。



ご意見ご質問は
議会事務局へ
ふれあいボックス





原里小学校の皆さん



高根小学校の皆さん



議場 見学

原里小学校・高根小学校・
朝日小学校の皆さんが
議場見学に来てくれました。

議場は元気いっぱい「議長ときねんさつえい」
真剣な顔で「議会のはなしを聞きました」
議員席に座り「ちょっと緊張しました」
学校では体験しない時間を過ごしました。



朝日小学校の皆さん



未来議会 プロジェクト



date 2024/10/22

御殿場高等学校へ伺い、2クラスの生徒とグループワークを通して交流を行いました。

テーマを「どんな市だったら住みたいか。そのためには何が必要か。」とし、意見交換を行う中で、生徒からは「若者が集まる商業施設の誘致」「公共交通機関の利便性の向上」「子育てしやすい支援の充実」などを求める提案があり、議員からは「高校生が市政やまちづくりにしっかりとした意見を持っていることが分かり、その意見を直接聞くことができたことは、大変有意義だった」などの意見がありました。

今回のプロジェクトで頂いた提案や意見を精査して、今後、積極的な施策に取り組んでまいります。



未来議会 プロジェクト



date 2024/10/23

御殿場南高等学校の生徒7名と議会改革特別委員会の委員が、市役所にて意見交換会を通して交流を行いました。

意見交換会に参加した生徒からは「議員の皆さんに親しみが持てるようになった」「御殿場のことをよく知らなかったが、この機会に調べることができ、理解が深まった」などの意見がありました。議員からは「議会のことを知ってもらい、高校生にとっても身近な存在であることを経験してもらうことが出来たのはお互いとても有意義な場であった」などの意見がありました。



〔視察先：熊本県山鹿市〕

農業支援プロジェクトについて

山鹿市の農業の現状についてさまざまな学習し、就農するために必要な5つの要素①栽培技術②経営感覚③就農基盤④営農資金⑤収納環境を学んだ。J・A、行政機関及び地域農業者が連携し就農相談から農業体験、研修、就農、定着に至るまでの一貫した支援体制を構築しており、その包括的な支援は大変参考になった。

〔視察先：熊本県荒尾市〕

おもちゃタクシー事業について

令和2年から実施した市内全域にオンデマンド相乗りタクシー（おもちゃタクシー）事業の経緯・実績・展開をヒアリングした。AIを積極的に活用し、タクシーの効率的な運用により事業が軌道に乗り、多くの市民の買い物・病院などに利用されている点が大変参考になった。

〔視察先：熊本県玉名市〕

玉名市未来プロジェクト

賑わいのまちづくり地域交流活性化支援業務について

「こんな玉名市であってほし

い」この市民の願いを基に、10

年後の将来図を行政と市民や企業・団体の意見を参考に、まちづくりの羅針盤を作成した。行政と民間が連携し「共に考え、共に動き、共に創り出す」という力強い姿勢が大変参考になった。

〔視察先：熊本県熊本市〕

イノベーション創出プロジェクトについて

スタートアップ支援施設クロスポイントで現地視察をした。起業に至るさまざまな段階ごとに、数多くの事業やプログラムを用意し、きめ細かく対応している一貫性と総合性が大変参考になった。

経済環境委員長 勝間田博文



くまもと森都心プラザ
XOSSPOINT. (熊本市)にて

〈内容について〉

御殿場市役所東館で「新しい力を巻き込み、活力ある街を」をテーマに19時から21時まで開催した。委員長あいさつ、委員の自己紹介、行政視察の基調報告、グループワーク、各グループの発表、委員長の講評の流れで行った。

グループワークでは、御殿場市商工会、御殿場100人ミライ会議、ランドブレイン株式会社から集まった参加者が、4名ずつ3つのグループに分かれ、6つの題材について意見を出し合った。また、議員が各グループの進行役と書記を担当し、議論が円滑に進むように努めた。

所感〈運営について〉

グループワークでは、基調報告と参加者の親和性を重視する工夫が行われた効果で、活性化が図られたものの、時間不足により6つの議題を十分に掘り下げる事ができなかった。今後は、参加者とテーマの親和性を重視しつつ、議題の絞り込みも必要であると考える。

〈未来を担う人材の育成〉

小中高校連携した労働教育の取り組みが必要と指摘された。また、新しい力を引き出すためには、スモールオフィスのような場を含む若者支援が必要で、熱意のある若者の能力を引き出すための環境整備が必要である。

〈人材確保〉

U・I・ターンの促進、人材マッチングの促進、若者の主体性の尊重等を通して、若者が自由に挑戦できる寛容な環境を整える必要があると考える。

経済環境委員長 勝間田博文



御殿場らしい共生社会の まちづくりについて

〈概要〉

今回の議会報告会については、日頃から社会的立場の弱い人々と接し、携わっていただいている関係団体の方との意見交換を行った中で、経験に基づいた多くの生の声を聞くことができた。

「3つのバリアフリー」を キーワードとしたワーク ワークショップにて出された 主な意見

①環境のバリアフリー

生活道路における歩道や高齢者用の駐車場の整備等、今後の高齢化社会を見据えたインフラ整備の推進。

高齢者、障がい者など車を運転できない交通弱者の移動手段となる公共交通機関の整備及びサービスのさらなる拡充。

②教育・文化のバリアフリー
農業やスポーツを通して、高齢者、障がい者との交流を深めることのできる場の創出。



福祉文教委員長 阿久根真一

③心のバリアフリー

困った時はお互い様であり、互いに助け合う心と行動を育む風土の醸成。

〈まとめ〉

高齢者・障がい者・外国人の方が普段生活する中で、困り事を共に考え、手助けをするなど一人一人が具体的に行動を起こすことで共生社会は築かれていく。

その基盤をつくり「共生社会のまちづくり」が、御殿場市では当たり前になることを目指し、この議会報告会を今後の提言に活かしていく。

議会改革特別委員会

11/11

行政視察



寒川町役場にて

議会改革特別委員長 勝間田博文

住民参加型の自治の中で、議員がその役割を果たす基盤として条例は重要と感じた。

条例は議会の活動姿勢を成文化し、運営の透明性と信頼性を高め、運営基準と一貫性を確保するため必要である。

検証内容について

議会基本条例の制定と

〔視察先：神奈川県大和市〕

大変重要であると感じた。

とは、中長期的な視点から見て

者教育の推進」を明文化したこ

る。全国で初めて条例に「主権

続けることが、非常に重要であ

議会の目標や目的を維持し

議会基本条例制定に向けて

〔視察先：神奈川県寒川町〕

総務委員会

11/7

議会運営委員会

11/1

4・5 ページの
報告書全文は
こちら



〔行政視察〕



〔議会報告会〕

総務委員長

勝間田幹也

「住み続けたい」意識を醸成。本市でも人とのつながりを活かしたまちづくりを進めたい。

通学支援者に行政参画を奨励し、立続可能性自治体になる。

地理的強みや施設整備などにより人口が増加、県内唯一の自

〔視察先：静岡県長泉町〕

人口減少対策について

議会運営委員長

田代 耕一

力が必要と感じた。

議会を身近に感じられる努

ブ配信は参考になる。

電子採決の導入、委員会のライ

「Qイズ！議会へGO！」や

き込む施策やICT化を模索。

市民と直接交流し、若者を巻

ICT化推進と議会運営について

開かれた議会の醸成 議会の

〔視察先：愛知県半田市〕



勝間田 幹也
みきや

無会派



中学校における部活動の今後について

国から中学校部活動を地域移行する方向性が示され、具体的な対応が求められている。

問 部活動の現状について

答 市内の中学校において、運動部10種目62部、文化部5種目16部が活動をしている。学校の規模や部員数等によつては、以前あった部活動が廃部や休部になり、団体競技においては単独の学校単位で大会出場ができなくなっている。

一方、地域からの手厚い支援をいただき、今年度は陸上、水泳、マーチングといった部活動が全国や東海などの場で活躍をしている。

問 部活動を地域移行する課題について

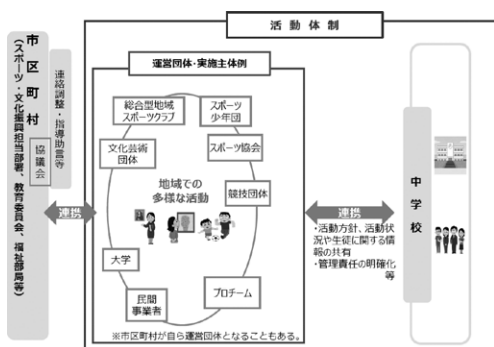
答 主な課題としては、部活動の適任な指導者や受け皿の確保、家庭の経済的負担、平日と休日の指導者が変わることで生徒の不安などが挙げら

れる。それ以外にも多くの課題がある。

問 部活動の今後の方向性について

答 来年度は、種目や活動を精査し、モデル事業を実施して、よりよい方法を模索していく。平日は学校部活動を継続し、休日は地域の方々の協力を得ながら今後、検討を進めていく。

生徒がスポーツや文化芸術活動を継続して親しむ機会を確保するために「地域の子どもたちは地域で育てる」という共通の意識を持ち、諸団体等と連携を図り、生徒のニーズに応じた多様な豊かな活動を実現していく。



みどりの食料システム戦略の取り組みについて

問 スマート農業の今後の展望について

答 現在実証実験を行っている「アイガモロボ」のほかにも「ドローン」や自動運転などのICT技術を活用した先進的な農業用機械は数多くある。農協や生産者団体の要望や意見などを伺いながら、本市に適したものを選り取り入れていく。

問 新規就農者支援の取り組みについて

答 個人の営農だけに限らず企業・営農団体の参画など、多様な担い手を支援・確保するため、他市町村からの移住定住や優良農地のあっせんなどを組み合わせた「新規就農総合支援」に関する市独自の助成制度や相談窓口等の創設を検討する。

問 地域の食料自給率向上と地産地消の推進について

答 食料自給率の向上と地産地消は一体と考えることから、



森 順
じゅん

無会派
参政党



現在実施している学校給食における地域の農産物の使用割合を増やすことや、市内の食堂やレストラン、ホテル等においても食材として使用する割合を高めていただくことを目指す。

問 オーガニックブレッジに関する本市の見解について

答 「御殿場市みどりの農業推進協議会」において、先進的な取り組みや実証実験を推進しつつ「オーガニックブレッジ」が目指す地域ぐるみの推進体制の構築に向け、農業関連団体のほか、飲食関連団体や流通団体、学校給食の関係者などを加えた包括的な実施体制の整備について検討を進める。





勝又

まさだ
正人

市民21

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



福祉の重層的支援整備事業について

問 本事業の現状について

答 属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援の一体的な実施が求められる中、令和4年度から連携担当職員とアウトリーチ専門員を新たに設置するとともに地域づくり・参加支援に向けた「居場所」の拡充を進めている。

問 多頭飼育崩壊などのケースでの多機関連携について

答 現在の支援会議の構成員は福祉関係者が中心となっているが、多頭飼育などのケースについては、その専門性から環境課や保健所・動物愛護に関する民間団体などと連携し、効果的な支援を進めていく。

また、アウトリーチを積極的に行い早期発見・早期介入に努めるとともに、介護支援専門員や民生委員などへの研修の機会を利用し、情報連携できる体制づくりを進めていく。



問 「福祉の総合案内窓口」を充実強化し「福祉の総合窓口」にしてはどうか。

答 福祉の総合案内窓口では、「断らない・ワンストップ」の相談窓口」を目指し、包括的相談支援事業と合わせ、福祉関係部門が連携した体制の構築を進めている。「案内」を付けることにより、より気軽に相談しやすい窓口をつくっており、今後も市民に寄り添ったきめ細かな相談支援に努めていく。地域の社会資源を活用し、「御殿場らしい人づくり、まちづくり」の実現を目指し、重層的支援体制を推進していく。

当市の工事請負契約について

問 落札率が100%に近いことについての見解は。

答 ダンピング受注対策の制度等が業界に広く浸透し、妥当な積算が行われてきた結果であると捉える。結果として落札率が高くなる傾向がみられるため今後とも注視していく。

問 災害時の緊急工事等について、契約方法は。

答 市民の生命・財産に関わるような緊急の追加工事が必要となった場合には、経費を抑えることに限らず、随意契約を活用する。

問 請負代金内訳書と当市の内訳書の比較は。

答 工事における安全管理、品質管理及び施工管理について、総合的に確認するため比較検証している。



小林

まさみ
昌美

至誠

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



問 予定価格決定調書の取り扱い。

答 業務時間内では関係書類が放置されることのないよう、業務時間外においては鉄庫にて厳重な管理をしている。決裁は原則手渡しとしている。

問 工事請負契約の今後は。

答 入札事務の透明性と公正性を確保しつつ、官民一体となり市民に信頼される入札制度の継続に努める。





あぐね ましひろ
阿久根真一

改新



富士登山御殿場ルートの プロモーション強化と 安全対策について

問 エコツーリズムへの関心の高
さから、閉山中においても秋
や冬の富士山を楽しむ新たなメ
ニュー開発はできないか。

答 富士山の素晴らしい景色を楽し
んでいただくためには、安全性の
確保が最も重要である。観光協会等の
関係機関と連携を密にして、民間事業
者が安全で魅力的なツアーを開発でき
るよう取り組んでいく。

問 御殿場口へ誘客する「下山
ルート推し」として、登山協
力を納めた人に渡される木札を
提示すると、市内温泉施設等にて割
引が受けられるサービスを本市に
おいても導入してはどうか。

答 この提案は御殿場ルートの利用
者に市内を回遊していただける
方法の一つであり、当市の魅力を伝える
良い機会である。現在、実施している
市内事業者の取り組みを拡大させるな
ど、観光協会をはじめ観光事業者と共

に検討していきたいと考える。

問 現在、協議されている通行料
の徴収においては大石茶屋
西側へのゲート設置が検討されてい
るが、登山者以外にもトレッキング
やプチ登山を楽しむ方も多いとさ
れており、その区別についてはどの
ように対応されるのか。

答 手軽に富士山の魅力を感じるこ
とができる大石茶屋までのプチ
登山や休養林ハイキングなど富士山観
光をされる方々においては、入山管理料
が徴収されないよう協議している。



幼児の教育・保育施設の 整備計画について

問 本市の乳幼児期の教育・保育
の現状について

答 近年、保護者の就労環境の変化
や核家族化により、乳幼児期の保
育需要はますます高まっており、ニーズも
多様化している。現在、保育所等の入園
率は受入可能人数に対しほぼ100%だ
が、公立幼稚園の入園率は定員の約27%
となっており、保育所等と幼稚園との園
児数差が大きくなっている現状がある。

問 こども園化や施設の統廃合
も含めた検討状況について

答 認定こども園化については、民間
の既存幼稚園や保育所が認定
こども園に移行するための支援を行い
ながら、公立の保育施設についても必要
に応じて認定こども園への移行について
検討している。

本市における認定こども園は、現在、
公立1施設、民間6施設ある。今後の整
備状況は、私立幼稚園1施設が園舎を
改築し、幼稚園型の認定こども園化を

予定している。統廃合は、令和元年度以
降、公立幼稚園2施設を閉園し、高根
第2保育園も今年度末をもって閉園と
する予定。

問 次年度以降改修に入る玉穂
第1保育園と玉穂幼稚園を
統合し認定こども園にする検討に
ついて

答 幼児の教育・保育施設整備基本
構想に基づき、庁内検討委員会
で検討し方針決定するための準備を進
めている。こども園化も含め地元からの
意見や要望を取り入れ、幼児教育・保
育現場の声も生かした施設整備につい
て十分に検討していく。



しづわ かつのり
芹澤 勝徳

至誠





高村

芳章 よしあき

改新

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



スコリア火山れき堆積を想定した富士山噴火の避難計画について

問 避難計画の自主防災会等に対する説明会の実施状況及び現段階における課題について

答 富士山ハザードマップと富士山火山避難計画の説明会は、実施回数72回、4576人の市民などに対して行った。

避難地・避難所の確保、移動手段の確保と事業者などとの連携、全市民に対する市火山避難計画の周知徹底と段階的な訓練の実施が課題である。

問 スコリア火山れき堆積を中心にしたハザードマップや防災計画の策定について

答 17年前に富士山火山防災協議会が作成したマップを踏襲している。防災対策は「御殿場地域防災計画」の第4編「火山災害対策編」に記述されている。

問 スコリア火山れき堆積を中核とした避難計画について



答 原則として自宅又は近隣の堅牢な建物へ避難とする。他市町への広域的な避難は基本的には想定しない。12月末までに政府の降灰検討委員会がガイドラインを公表する予定であり、新たな知見が得られた段階で計画の一部修正など検討する。

問 スコリア火山れき堆積からの道路復旧計画について

答 火山灰の堆積が確認されてから3日以内に緊急輸送路を中心とした道路の除灰を実施する。復旧拠点となる優先施設に通じる道路や道路ネットワークに重点を置いた作業を行い、市民生活の回復に向けた復旧に取り組む。



小林恵美子 えみこ

公明党

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



命に係わる救急行政について

問 AED使用による心肺蘇生の最新の事案について伺う。

答 救急現場に居合わせた人、いわゆるバイスタンダーによる心肺蘇生事案は令和5年に4件発生し、対象者は無事に社会復帰している。

問 バイスタンダーへ「感謝カード」をお渡しする取り組みについて見解を伺う。

答 消防長から感謝状の贈呈はしているが、感謝の意とともに、応急手当の結果生じた不安や悩みをサポートするための「応急手当感謝カード」の導入を前向きに検討している。

問 公共施設設置のAEDボックスの中に三角巾を配備することへの見解を伺う。

答 三角巾は応急処置だけでなく、様々な用途が考えられ、性別に関係なく使用が行えるよう早急に配備の検討を進めたい。



問 今いる場所から一番近くにあるAEDを検索するためのアプリ取得を促す方策について伺う。

答 消防本部のホームページにAEDマップへの外部リンクを設置している。今後は、SNSや広報紙など、さらに多様な媒体を活用し、AEDに関する情報をより広く周知していく。

問 公共施設へのAED屋外設置について見解を伺う。

答 市民の安全と安心を最優先に考えた中で、屋外設置のメリットや課題を総合的に考慮し、多くの人が利用する陸上競技場や学校のグラウンド等の施設に関して、適切な設置場所や管理方法を検討していく。



勝間田博文 ひろふみ
公明党



自治会の活性化に向けた取り組みについて

問 自治会が今困っていることは何か伺う。

答 役員のなり手不足、自治会加入者の減少、高齢化等々が大きな問題である。

問 役員のなり手不足について、具体的にどのような対策を講じていくか伺う。

答 「役員の負担」軽減を図るため、区長出席行事の削減をする。出席依頼を真に必要な行事だけに見直せるよう、来年度の実施に向け区長会と協議を進めている。次に、自治会向け業務のDX化を進める。

また、区の役員の業務を支援するため、区長及び希望する副区長を対象に専門家による「自治会運営研修」を開催しサポート体制を整える。行政として、すぐできることから役員のなり手不足問題に取り組んでいく。

問 自治会加入促進のため、市としてどのような対策を講じているか伺う。



原里地区 市長対話集会

答 本来、自治会は、住民の自発的活動であり、加入についても強制できないが、いくつか施策を行っている。転入者への自治会周知の広報を行い、運営費補助金を交付し自治会の活動を支援している。市行政の各部署でも、自治会への加入を案内する等のサポートをしている。

問 今後の展望について伺う。

答 現状、課題等を把握することが重要である。初めての試みとなるが、本年中に区長の皆さんから、意見、課題を頂き協議し、自治会に対してできる限りの支援をしていく。



高木 理文 まさひろ
無会派 日本共産党



インド陸軍との実動訓練への本市の対応について

問 今回の訓練内容について伺う。

答 印陸軍との実動訓練を通じ、陸自の対テロ分野での戦術技量の向上と自衛隊と印陸軍とのさらなる連携強化をはかる。主な訓練内容は、対テロにかかる各種行動に関する訓練である。

問 新たな基地負担の始まりである。東富士演習場を絶対に多国籍軍との合同演習場化させてはならない。見解を伺う。

答 現時点で、米軍以外の他国軍隊との共同訓練については決まった計画はない。公平負担の観点から、自衛隊と他国の軍隊等との共同訓練が、頻繁に、または集中して行われることがないよう、国に要望した。国からは地元意向に留意すると回答があった。

問 保険証廃止後の本市の対応について

答 今お持ちの保険証は国保の場合、原則有効期限の令和7年7月末まで使用できる。有効期限を迎える前に、マイナ保険証をお持ちの方には「資格情報のお知らせ」を、お持ちでない方には「資格確認書」を発送する。市広報紙やHPを通じ、周知に努める。

問 マイナ保険証の利用登録解除の手続きについて伺う。

答 申請の受付は国保年金課窓口や郵送でも可能。市HPや広報紙などを通じて周知する。

静岡県国民健康保険 有効期限 令和 7年 7月 31日	
資格確認書	
記号番号	99999999 (枝番) 99
氏名	御殿場 太郎
生年月日	昭和29年 1月 1日 性別 男
適用開始年月日	令和 6年 8月 1日
交付年月日	令和 6年 8月 1日
世帯主氏名	御殿場 太郎
住所	静岡県御殿場市萩原483番地
負担割合・発効期日	2割 令和 6年 8月 1日
保険者番号	220152
交付者名	御殿場 市

「資格確認書」は紙の保険証と同じように使えます。



川上

秀範 ひでのり

新風
ごてんば

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



誰ひとり取り残さない教育について

問 本市の不登校児童・生徒の現状について伺う。

答 市内小・中学校における年間30日以上欠席している不登校児童・生徒数は、令和3年度179件、令和4年度207件、令和5年度259件と、増加傾向である。市全体の児童・生徒数が減少していくのに対して、不登校の子どもの数は増え続けている。

問 不登校児童・生徒を学校に戻すのではなく、社会的自立を目的とし、寄り添った対応を求めるが見解を伺う。

答 教育支援センターでは、誰ひとり取り残すことのない教育の実現を目指し、多様な学びの場を提供できるよう、関係機関との連携を図っている。どの子にも起こり得る不登校をその子の成長や、発達の過程として受け止め、安心できる温かな雰囲気の中で一人一人に寄り添いながら、不登校児童・生徒の社会的自立を目指している。



令和6年度設立された教育支援センター

問 本市における教育の方向性について伺う。

答 学校が全ての児童・生徒にとって「心の居場所」や「絆づくりの場所」となるように、日常的なあいさつ、声掛け、励まし、対話といった働きかけや授業の充実に力を入れている。子どもたちが安心して学校生活を送るためには、「誰ひとり取り残さない」という先生方の共通した認識が何よりも大事である。どの子どもも自分らしさを発揮し健やかに成長できるよう、教育委員会として各学校への支援を着実に進めていく。



辻川
公子 きみこ

無会派

一般質問

YouTube
モバイルサイト
QRコード



御殿場線の現状と今後の展望、鉄道会社の利用促進について

問 通学補助制度の現状と利用者のニーズや反響は。

答 今年度半年間での申請者は327名。自宅通学の決め手となった等、大変好評である。

問 御殿場線活用推進協議会の成果や公表は。

答 交通系ICカードの利用や駅等の環境整備向上を図った。今後は、要望内容等の公開を前向きに検討する。

問 小田急電鉄ふじさん号平日特急券割引の要望は。

答 様々な要因を勘案した上で、的確な判断が必要であるが、地域の観光振興・経済活性化に資するため、今後検討する。

問 小田急電鉄快速列車の御殿場線の乗り入れ要望は。

答 毎年要望をしているが、沿線地域のまちづくりの進展や定住人口の拡大に繋がるため、今後も粘り強く要望する。

小中学校の8時登校について

問 実施校と今後の予定は。

答 校門の開門時刻に変更はないが、4月から一部の学校で昇降口の開錠が8時となる。

問 朝早く出社する親は、子どもが家で一人になるとの懸念がある。変更前に保護者アンケートを行っていただきたいが。

答 今後、変更する学校では、丁寧にっていく。

問 朝の子どもの居場所づくりを予算化している先例事例を研究してはいかがか。

答 モデル事業を始めた自治体の動向を注視していく。





神野 真

義孝

新風
ごてんば



馬術スポーツセンターの環境整備とブランド力強化について

問 本年度、馬術・スポーツセンターは、日本馬術連盟主催の4大会のほか、多くの大会の予定が組まれている。平成15年の第58回国体馬術競技場として、簡易的施設が開設され、国体終了後取り壊される予定であったが、要望により取り壊されず、全国を代表する馬術競技場の一つとして貴重な施設となっている。

問 本年度の利用状況は。

答 9月末現在の半年で2万人余と、昨年度同時期の約1.5倍の利用があった。

問 経済的評価額は。

答 昨年度は約2万3千人の利用者があり、宿泊・日帰り合計で約5億円であった。

問 ブランド力の評価は。

答 馬術競技は格式が高く、毎年皇室のお成りのある大会があり、市民オリンピックの活躍などから非常

に高いブランド力を発揮していると認識している。

問 プレハブの管理棟の建て替え、厩舎・屋内馬場の扉の改修や水はけが悪い屋外馬場の基礎からの改修は。

答 大規模な修繕は、市単独での実施は困難であり、国・県等の支援など総合的に対応を検討する。

問 約99%の備品が平成15年の国体時のもので、耐用年数を超えており、老朽化したものがあるが、対応は。

答 更新は、緊急度、重要度に応じ計画的に実施する。



環境整備によるブランド力強化

沿道利便施設(道の駅的施設)について

問 沿道利便施設(道の駅的施設)の特徴について

答 本市が目指す施設整備は、道路利用者のための道の駅に留まらず、日本一の集客力を持ち、高い満足度を提供するための施設である。道の駅の運営は、一部施設内を24時間開放するなど、様々な制約があるが、道の駅的施設は施設整備や運営上の自由度が非常に高く、様々な優位性を発揮することができる。

問 沿道利便施設のアクセシビリティについて

答 民間バス事業者等との協議を進めながら、本施設への立ち寄りルートを積極的に検討し、市内全域の観光促進や利便性向上を図っていく。

問 沿道利便施設整備事業の展望について

答 地元の農産物や特産品を生かしたマルシェや郷土料理の提供、御殿場ブランドの創出、富士山の麓での



後藤 真弥

新風
ごてんば



癒し・くつろぎ空間、歴史・文化の発信など、御殿場の魅力をまるごと堪能できる施設を描いている。施設の建設予定地は、国道138号沿いの鮎沢交差点と細町交差点の間の北側に位置する農用地に決定した。この土地の周辺は、東名高速道路のインターチェンジがあり、大型の人気観光・商業施設をはじめ、公共施設や店舗などが多く点在する。そして、伊豆・箱根や富士五湖など、人気の高い観光地の玄関口としての地理的優位性を最大限に活用し、御殿場の明るい未来をひらき、御殿場を潤す施設になることを確信している。



沿道利便施設建設予定地

12月

定例会で決まったこと

議案の審議結果一覧



12月 定例会

議案書等資料については
ホームページに掲載

全会一致で可決等された議案	
専決処分の承認	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度御殿場市一般会計補正予算(第5号)について)
予算 [9件]	令和6年度御殿場市一般会計補正予算(第7号)について
	令和6年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
	令和6年度御殿場市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
	令和6年度御殿場市救急医療センター特別会計補正予算(第1号)について
	令和6年度御殿場市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
	令和6年度御殿場市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
	令和6年度御殿場市上水道事業会計補正予算(第1号)について
	令和6年度御殿場市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について
	令和6年度御殿場市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について
条例 [4件]	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
	御殿場市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定について
	御殿場市立保育所条例の一部を改正する条例制定について
	御殿場市下水道条例の一部を改正する条例制定について
その他 [7件]	御殿場市民会館大ホール舞台用電気設備改修工事請負契約の締結について
	新御殿場市立図書館等外構整備工事請負契約の締結について
	御殿場市立西学校給食センター備品(荷受検収室等厨房機器)の取得について
	御殿場市御胎内温泉健康センターの指定管理者の指定について
	遊RUNパーク玉穂の指定管理者の指定について
	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について
	市道路線の認定について
人事 [1件]	御殿場市固定資産評価審査委員会委員の選任について

賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対

※議長(中島 宏明)は採決に加わりません。

令和6年度御殿場市一般会計補正予算(第6号)について

可決

高木 理文	森 順	阿久根 真一	永井 誠一	後藤 真弥	芹澤 勝徳	小林 昌美	横山 大	辻川 公子	池谷 晴一	菅沼 芳徳	高村 芳章	川上 秀範	中島 宏明	小林 恵美子	勝間田 博文	勝間田 幹也	勝又 正人	林 義浩	神野 義孝	田代 耕一
×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○

市ホームページで
完成までの様子を
公開しています。



内観イメージ

12月定例会で、新しい図書館の外構整備工事請負契約の締結について審議しました。
郷土資料館機能を併せ持つ新しい図書館は、令和8年4月の開館に向け、玉穂地区(ふじざくら)の南側に建設中です。

新しい図書館を
建設中です



御殿場市チーム 報告

議長日記



昨年末、第25回静岡県市町対抗駅伝が実施されました。御殿場市の連覇は叶いませんでしたが、見事、第3位に輝きました。6区宮原選手（滝ヶ原駐屯地所属）は、昨年の自己記録をさらに縮める2年連続の区間新記録で走り、3位獲得に大きく貢献しました。自衛官OB議員として頼もしい限りです。選手・監督・コーチの皆さま、感動をありがとうございました。

御殿場市議会議長 中島 宏明

議会防災訓練



12月定例会最終日（12月13日）の朝に情報伝達・安否確認訓練を、本会議終了後に避難訓練を行いました。

避難訓練は、本会議中の地震を想定したもので、議員・職員で議場からの避難経路を確認し、庁舎の外へ避難しました。

■ 正式な会期日程は、直前の議会運営委員会で決定されます。詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください。
※市議会ホームページにも掲載しています。

■ いずれの日も傍聴することができます。当日、市役所東館3階の議会事務局で受付をしております。



24月	13木	12水	11火	10月	7金	25火	21金	20木
付託・追加議案の審議採決	7年度当初予算質疑	7年度当初予算質疑	一般質問	一般質問	代表質問	7年度当初予算説明	7年度当初予算説明	市長施政方針・提案理由説明・議案の審議

3月
定例会
の予定



3月 定例会
2/20~3/24（33日間）
時間はいずれも 午前10時～

御殿場市議会広報委員会

〈委員長〉 勝間田幹也

〈副委員長〉 池谷 晴一

〈委員〉

高木 理文 / 森 順 / 後藤 真弥
小林 昌美 / 横山 大 / 辻川 公子
高村 芳章 / 小林恵美子 / 勝又 正人



広報副委員長 池谷 晴一

市議会は、市長が提案する政策や予算などを審査、決定することや市政運営を監視する機能を担う議事機関です。市議会の決定に従って市政を執行する市長とは、お互いにけん制しあって、市民の立場に立った適正な市政運営を実現することを目指しています。

このため、私たち市議会議員の活動を市民の皆様知っていただくこと、そして、市政に係る様々なご意見を伺うことは大変重要です。

市議会だよりは、市民の皆様と市議会を結ぶ重要なツールです。多くの皆様にお読みいただきたいと思います。

編集後記

発行/御殿場市議会 編集/広報委員会

御殿場市萩原483 TEL.0550-82-4323 FAX.0550-82-4326

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷/有限会社 戸塚印刷所